

はじめに

平成三十年度少年の主張富岡市大会が、七月四日かぶら文化ホールにおいて榎本市長、大塚市議会議長を始め、たくさんのご来賓の皆様のご臨席をいただき盛大に開催されました。今年度も市内各中学校の一年生全員の参加と更生保護女性会や保護司会、参加生徒のご家族、市民の皆様など、大勢の方々にご来場していただき、熱心に中学生の主張に耳を傾けていただきました。特に、更生保護女性会の皆様には、例年大勢の会員の皆様に子供達を応援していただいていることに心から感謝を申し上げます。

各中学校代表の皆さんの発表は、校内予選を勝ち抜いてきただけあって、聴きごたえのある素晴らしい内容でした。特に今回も思春期の中学生らしい純粋な感性と体験から学んだことを発表してもらいました。中でも目立った主張として、多くの人に自分の気持ちを伝えることの大切さでした。最近の若い人たちは、自分の考え方や気持ちを他者に伝えることが不得意であるように言われますが、この大会を通じてコミュニケーション能力を高めようと努力している生徒も多いことに気づかされます。そんな中で、西中学校二年岡部桜子さんの『私の自信はどこから』、北中学校三年佐藤叶優さんの『伝えて届けて』、東中学校三年茂木美悠さんの『Dream come true』が、最優秀賞に輝きました。三人の共通点は、自分が経験したことから感じたり、学んだりしたことをしっかり主張できていたことだと思います。特に、印象に残ったのは、佐藤さんが昨年広島へ原爆について学びに行った際に、被爆者から言われたという一言「今日のことをたくさんの人に伝えてください。」の言葉を聞いて、「伝えなければ、伝わらない」と自ら行動した点です。「言うは易く、行方は難し」と言いますが、実行したことは大変素晴らしいと思いました。

参加した皆さんには、今回の経験をこれからの学校生活や進路に活かしていただき、よりよい人生の実現を目指して頑張ってくださいと思います。

結びに、今年度の大会開催のために各学校で熱心にご指導いただいた先生方、そして、真剣に審査をしていただいた方々大会開催にご尽力いただいた関係者の皆様方に心よりお礼を申し上げます。
大変お世話になりました。ありがとうございました。